



上◇外観
周辺の豊かな自然環境に良く映える大きな屋根と八角形の塔が、個性的で明るい気を放っています。
右◇玄関ホール
エントランス部分は、住まう人にもお客様にも安らぎと寛ぎを感じて頂けるように広々とゆったりした空間に仕上げられています。

Q2 『風水住宅』に実際に住まうまでの軌跡をお話いただけますか……。

家内は、あの時すでに「絶対に風水住宅を建てる」と堅く決心していたと後でわかり、また驚きもしましたが、私も勤めていた会社を四十七歳で辞め、次の生活設計の準備を始めました。後で知ったのですが、辞めた会社はその後、ITバブルに直撃され、一気に事業縮小へと転落していったと聞きました…。

全体の仕事を始めるときに「自分の家ではなく外で仕事を始めるように」と松永先生に言われ、出張のみで仕事を始めました。やがて一年ほどしてからお客様が増えてきたのを機に、自宅に仕事場を構えるようになりました。家内が講習会で学んだ「風水」を少しづつ実践していたことで、お客さまからは「素敵な部屋ですね」、「心地良いわね」と好評を受けてはいましたが、松永先生の鑑定では「なるべく早くこの家は出た方がよい」と言われるような袋小路の環境で、お客さまの中には「ここは来にくい場所だよ」との意見も確かにありました。

そこで、まず『風水墓』を建てました。陰宅風水を整えることから始め、次には『風水住宅』をいつか建て、そこにお客さまをお迎えする環境を作り、家族4人が一緒に住めることを私たちの目標にしました。それから、実際に『風水住宅』を建てることのできるようになるまでの軌跡(奇跡)は、目を見張るような出来事の連続でした。

まず、土地が見つかった。以前からここに家が建てられたらいいね、と言っていた場所が、土地探しを始めたその初日に新聞広告で売り物件として出ていた。その土地をすぐに購入しました。次には、以前から家内がこの日のためにと思い、長い時間をかけて銀行と交渉をしてきたローンが通った。また、最初は引越すのを嫌がっていた両親が、その土地や設計図を見て賛同してくれたばかりか、前の家の買い手もすぐに見つかった。そして、極め付きは、家内の誕生日に設計図が完成してきたのです。それまで絶えず陰になり日なたになり、私を支え続けてきてくれた家内へのこれは「誕生日プレゼント」だと心底思えました。



左◇玄関ポーチ
彩りが美しい花々に囲まれたネームプレートと厚いアーチに護られた玄関が、家の風格を物語っています。
中◇施術ルーム
お客さまの緊張感を素早く和らげる効果を考慮した室内は、優しいローズピンク色でまとめられています。
右◇待合サロン
「寛げること」を第一に考えられたサロンは床を一段下げ、癒しとリラクゼーションの空間に仕上がっています。



風水住宅を訪ねて 千葉県御宿・K様邸

住み始めて、ますます幸せを感じ
運気も上昇中……。

家を建てようと思いついてから8年
念願の『風水住宅』に住まれて早や3年の歳月が過ぎた。
その時々、節目節目にご夫婦が実際に体験し、経験された
数多くの「出会い」、「気づき」、「努力と成果」などの途中経過には
簡単に「運が良かった」、「奇跡が起きた」と片付けるには
余りある貴重な逸話が多々あった……。

風水インタビュー
FENG-SHUI Interview

Q1 当時のことを振り返ってみて、『風水住宅』との初めての出会い、きっかけとは何だったのでしょうか……。

松永先生と出会った頃は、今から考えても私たち人生の『ドン底期』だったのだと思います……。東京で家内が友人たちと興じた新しい事業が上手くいかず、また、私が当時、勤めていた会社(IT企業)でも事業が下降期に入る兆候がはじめていました。そのような折に家内の知人からご紹介を受けて、松永先生の『地球を救う風水術』を読んだのが最初のきっかけでした。

家内は松永先生の著書を読んでからは、どんなのめり込んでいき、とうとう「風水鑑定士講座C級」を受講するまでもなっていました。内心、私は家内の中にある前向きなエネルギーやモチベーションなどが上手く引き出せるのであれば良いことだと思っていたのですが、家内が、両親と新築したばかりの家が風水的には余り良くないという鑑定事実を話すのを聞き、正直、とてもショックを受けたのを今でもよく覚えています。

それまで『風水』と言われても、TVや雑誌などで流行っていた「おまじない」的なものしか知らず、著書に書かれていた「環境」と住まう人の「脳や身体、また、運氣」に関わるような事実が実際にあるなどとは考ええなかつた。そこで、二人で話して松永先生のカウンセリングを受けたことが、私たち夫婦にとって人生最大の転機になったのだと思います。

「お金がないから行き詰まるのではなく、脳が働かないから行き詰まる」、「戦略戦術が良ければ仕事は成功する。しかし、その前に実力がなければ長続きしない」、「損したものは、また、働いて稼ぎだせばいい……」などの話を直接うかがい、私も先生のお人柄と知見の鋭さに安心感を受け、また、圧倒されました。

最後に、夫婦二人で全体の仕事を始めようかどうかを迷っていたときだったので、「全体の仕事をするのは、あなたの天職です」と言われたときには、とてもびびくりしました。

Q3 実際に『風水住宅』に住まれてみて、どのような変化や周りの人たちからの反応がありましたか……。

「これからは、質の良い精神性の高い仕事をしなさい」。この言葉は松永先生から地鎮祭のときに言われたものですが、ここに家を建て、職住一体の人生をこれからは邁進しようことと決めたとき、まず、お客さまが施術を受けた後、元気になり、リセットできるような「健康に貢献する館」を創りたいと祈念しました。

今では、皆さまから「ここに来るといつもホッとした気持ちになれるよ」とお褒めの言葉を頂き、また「この家の設計図を欲しい」とある住宅会社の社長さんに言われるようにもなりました……。住み始めて3年の月日が経ちますが、一番の大きな収穫は、家族全員がひとつになれたことです。私がサライーマンを辞めると言い始めたとき、新しい家を買うと決めたときには反対だった両親もいまではとても私たちの仕事に協力的で、健康で元気な老後と一緒に過ごしています。

家内も全体の仕事を一緒に始めたのですが、今でも勉強を続けている「風水」の相談を目的に来るお客さまも増えて、とても充実した仕事ができているように見えますね。また、ここに引越してきてからは、地元で行われる花火大会にも家族そろって観に行けるような余裕と生活スタイルが実現しました。

今ではゆったりとした気持ちで毎日仕事ができ、質的に良い仕事ができているように思えます。きつと、この家がお客さまだけでなく、私たちの心も癒してくれるおかげではないかと思っています。

良い家を建てる秘訣とは…、具体的に準備をし、行動すること。そして、最後まで諦めなければ、必ず家は建つと思います。私たちがそうしように、まず「環境」づくりから始めることが、幸せへの近道なのではないでしょうか……。